



C O P 10開催準備について

生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会

生物多様性条約第10回締約国会議 (COP10)

COP10での会議参加者数・期間

参加者

191カ国の締約国、国連諸機関、NGO等、約7,000人が参加見込み

期間

約3週間

2010年
10月11日
開会

3週間

2010年
10月29日
閉会



COP9(ドイツ・ボン) 会議場の様子

MOP

(カルタヘナ議定書締約国会合)
2010年10月11日～15日
(5日間)

COP

(生物多様性条約締約国会議)
2010年10月18日～29日
(12日間)

閣僚級会合

10月27日～29日
(3日間)

サイドイベント・ワークショップ等

(国際的問題・課題に関するもの)
出席者は会議出席者中心



CBD COP10
あいち・なごや誘致構想
(2008.3 策定)



実施計画(策定中)
(2009.3 予定)

愛知・名古屋の 役割



COP10誘致を目指す愛知・名古屋は、COP10開催にあたり以下の役割を果たします。

会議支援

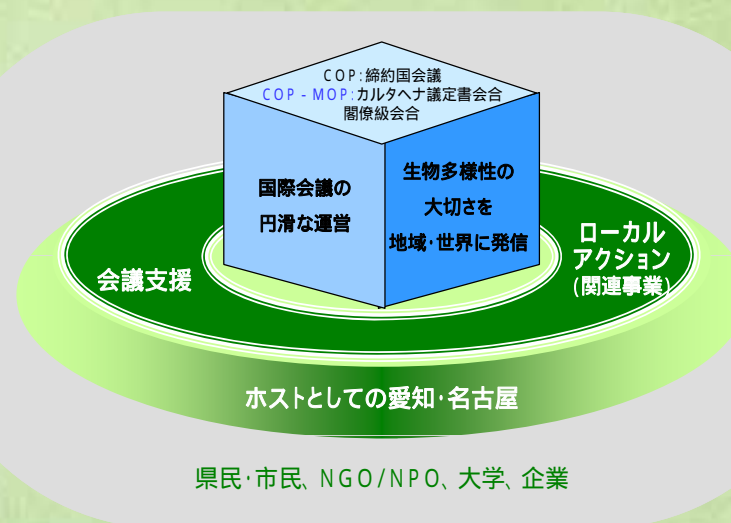
条約事務局・国が主催する国際会議が円滑に行われるよう、地域が一丸となって会議を支援します。また、この地域の魅力を発信します。

地域からの行動（ローカルアクション）

COP10開催を契機に、この地域の生物多様性の保全や国際交流・国際貢献を一層進展させるため、地域からの行動を展開します。

また、世界各国の自治体との連携を深め、地域からの取組の成果を発信します。

生物多様性条約第10回締約国会議



会議支援

条約事務局・国が主催する国際会議が円滑に行われるよう、地域が一丸となって会議を支援します。また、この地域の魅力を発信します。

1 会議の運営に対する支援

- ・安心・安全
- ・快適
- ・円滑な運営

2 環境への配慮

- ・輸送
- ・会場と宿泊施設
- ・物品・サービス調達
- ・ケータリング
- ・3Rの推進
- ・環境配慮の取組の情報発信



3 ホスピタリティ

- ・食への配慮
- ・自然、産業、歴史、文化を体験する
機会の提供による地域の魅力発信
- ・海外との友好

4 COP10を支える機能の充実

- ・発表交流の場の提供
- ・企業の参加と交流
- ・情報発信への支援
- ・交通インフラの充実



地域からの行動(ローカルアクション)の展開

COP10開催を契機に、この地域の生物多様性の保全や国際交流・国際貢献を一層進展させるため、地域からの行動を展開します。

また、世界各国の自治体との連携を深め、地域からの取組の成果を発信します。

1 あいち・なごやから始まる行動

2 行動の視点

生物多様性を知り、学ぶ

多様な主体の参加

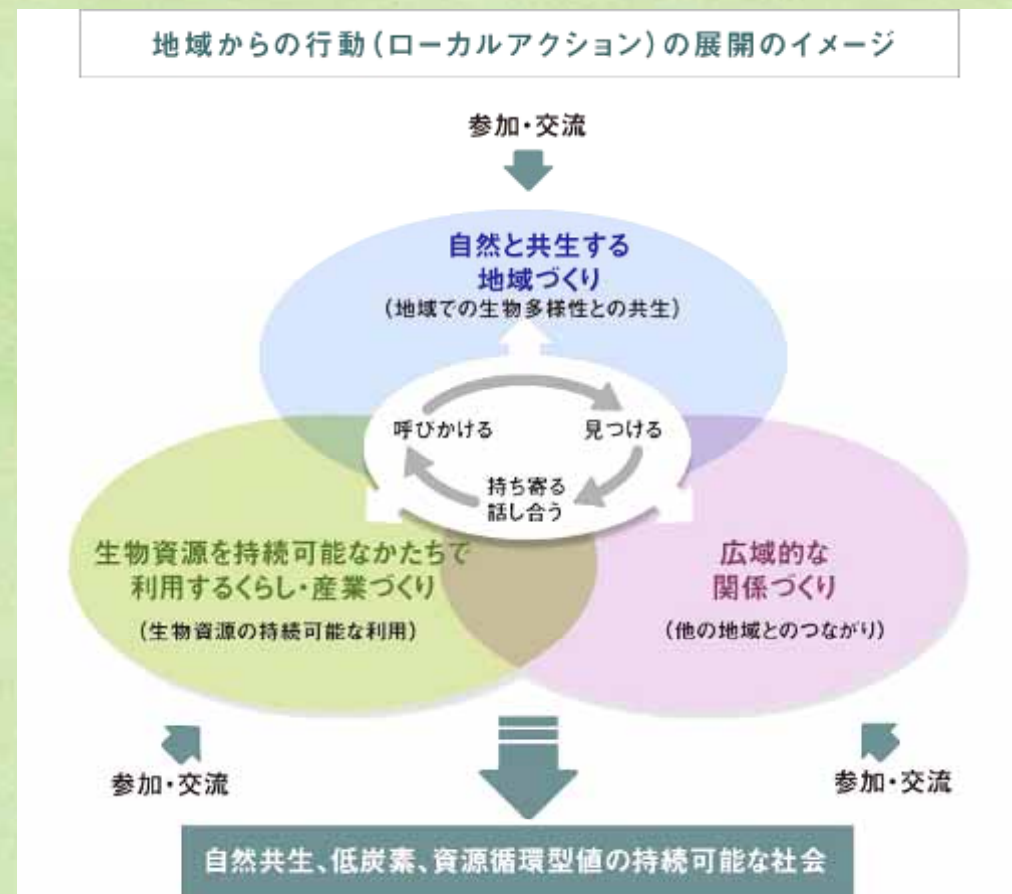
国際的な視野に立った広域的な連携

3 多様な取組と展開アイデア

自然と共生する地域づくり

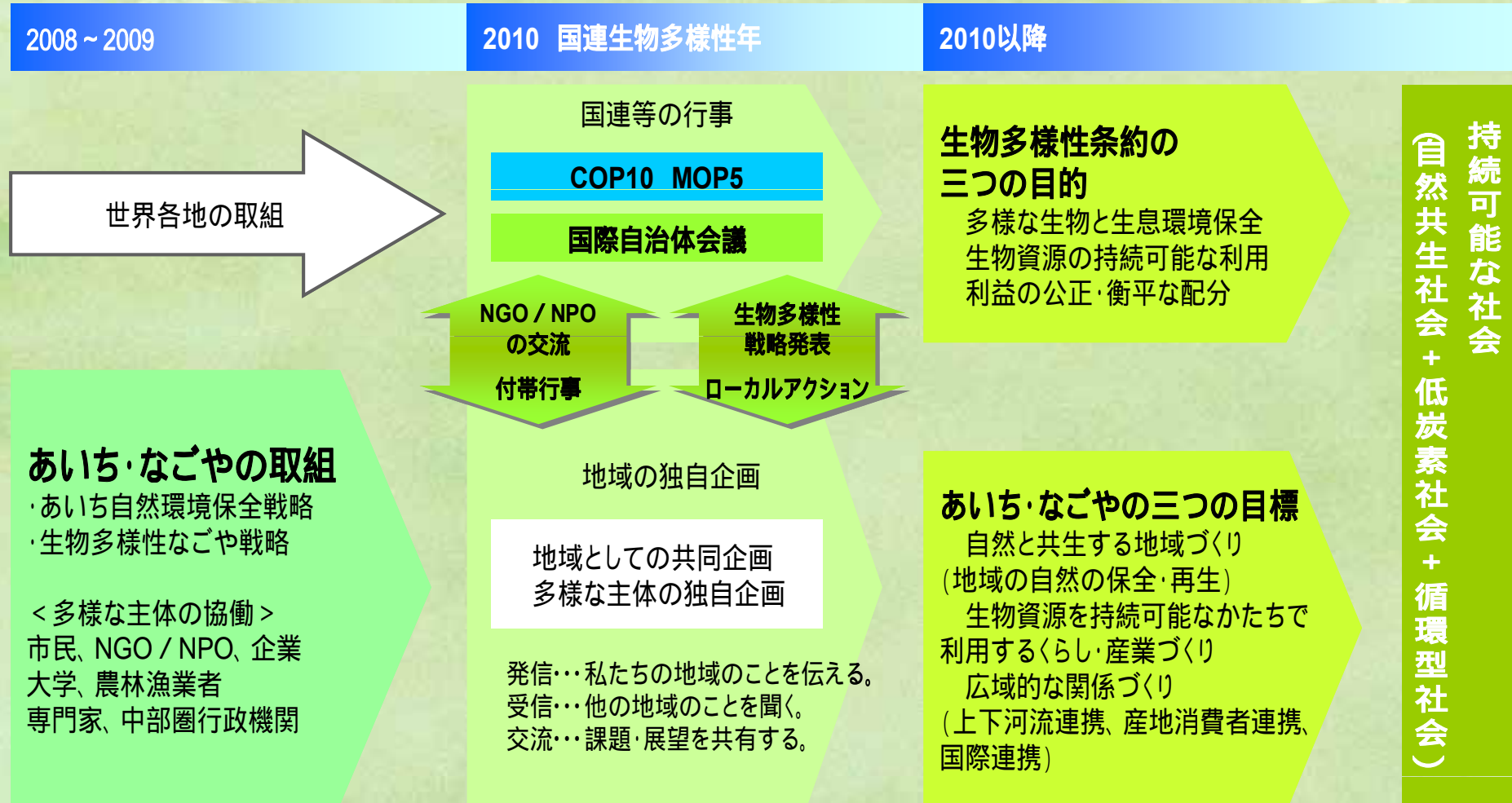
生物資源を持続可能なかたちで利用
する暮らし・産業づくり

広域的な関係づくり



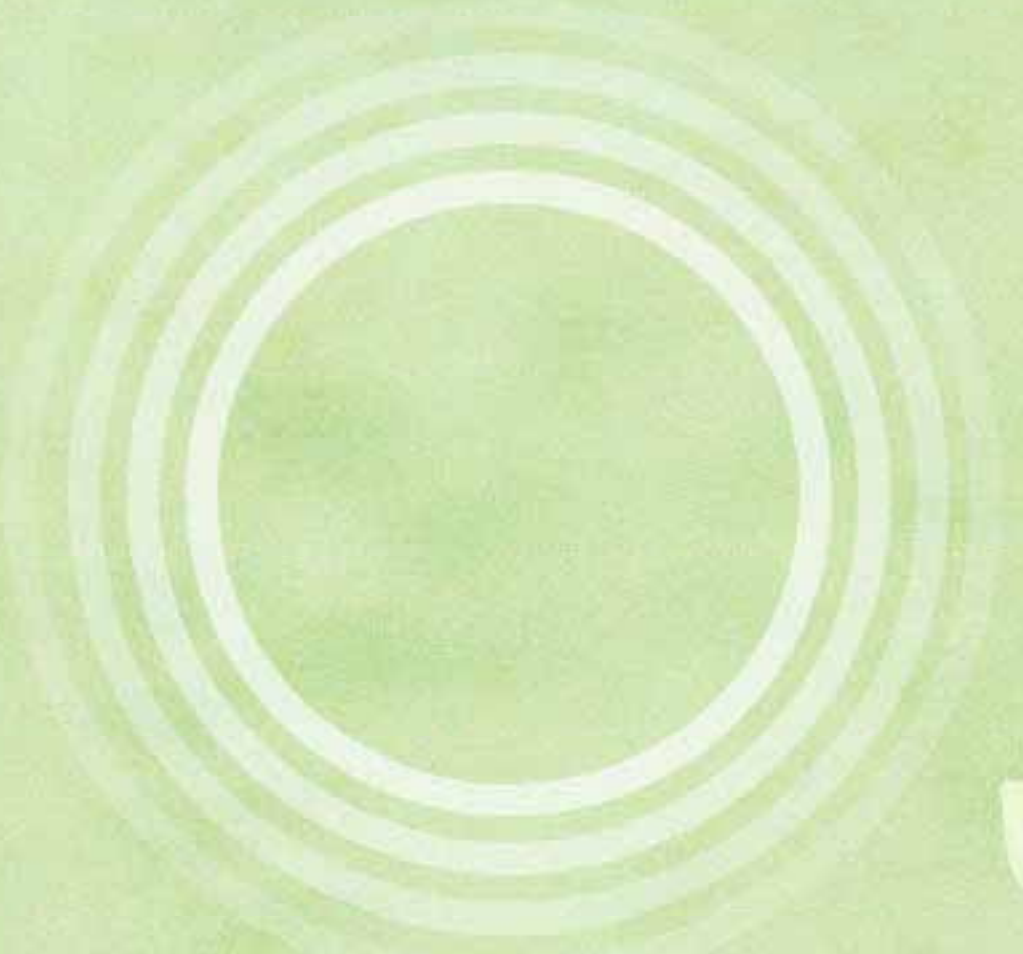
地域からの行動（ローカルアクション）の展開

4 取組の推進と中長期ビジョン





〈参考〉



**COP9 (ドイツ・ボン)
開催状況**

COP9(ドイツ・ボン)の概要

- 日時：平成20年5月12日～30日
MOP4（カルタヘナ議定書締約国会合）1週間（5月12日～16日）
COP9（生物多様性条約締約国会議）2週間（5月19日～30日）
閣僚級会合（COPの第2週に3日間）（5月28日～30日）
- 場所：マリティムホテル・ボン（閣僚級会合はボン国際会議場）
- 参加者：約7,000名（未確定、国連関係者・各国政府関係者・NGO等）
- 議題：2010年目標の後の枠組、バイオ燃料と生物多様性、
気候変動と生物多様性の関係など



サイド・イベントの様子



COP9併催展示会 Plaza of Diversity の様子

COP9全体の開催状況

【COP 本体会議】

【MOP4/COP9】

- ・主催：条約事務局、ドイツ環境省
- ・月日：MOP4 5/12(月)～5/16(金)
COP9 5/19(月)～5/30(金)
- ・場所：マリティムホテル他

【COP9 閣僚級会合】

- ・主催：ドイツ環境省
- ・月日：5/28(水)～5/30(金)
- ・場所：ボン国際会議場

【関連国際会議】

【国際市長会議】

- ・主催：ボン市、ICLEI 他
- ・月日：5/26(月)～5/28(水)
- ・場所：外務省「世界の間」

【都市と生物多様性&デザイン会議】

- ・主催：エアフルト応用科学大、ナチュラルイングランド他
- ・月日：5/21(水)～5/24(土)
- ・場所：Kaisersaal(エアフルト)

【フェア】

- ・生物多様性広場 5/12-30 屋外展示場
- ・生物多様性展示 5/27-30 屋外展示場

【招待行事】

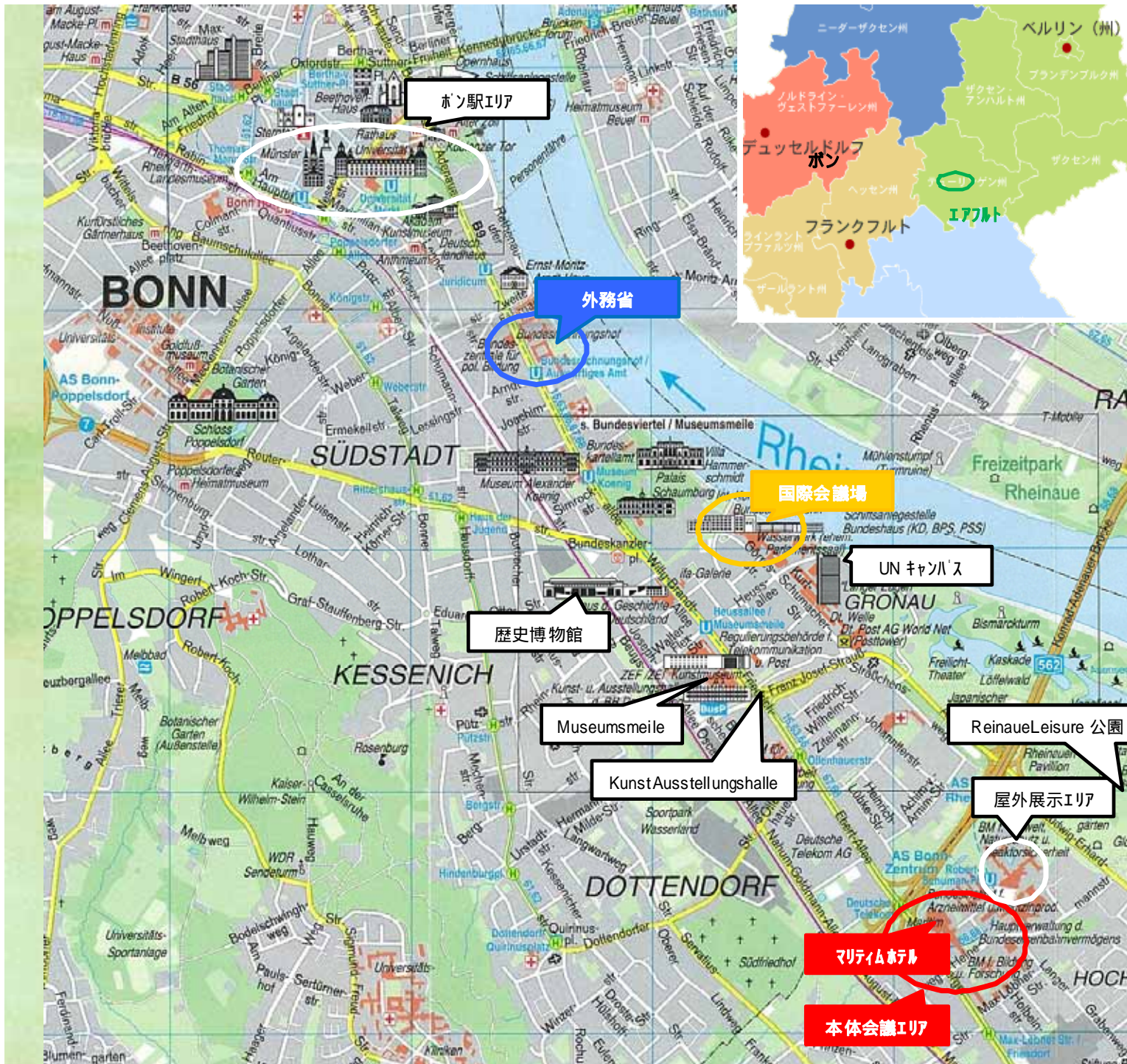
- ・MOP4 式典 5/12 ボン国際会議場
- ・COP9 音楽会 5/19 Museumsmeile
- ・ライブ・ネイチャー(ミュージカル) 5/19 Museumsmeile

【展示会】

- ・アフリカの財産 11/22 - 6/8 動物園・森林博物館
- ・オガイア・ラサル-育まれた地球 4/23-5/30 ラインラント地方博物館
- ・トケ植物とヒナ鳥 5/4-25 ボン女性博物館
- ・ピーター・ホール-昆虫世界ワークステーション 5/8-30 植物庭園
- ・ライナー・マリア「生物と将来 頭蓋の展示」 5/8-8/10 アレクサンダー・コーイン研究会博物館
- ・コーネリア・ゲンスロウ「トランプ 芸術展示」 5/8-6/8 ボン・芸術美術館
- ・生物多様性と人類 成熟した共生 5/14-6/22 ボン科学センター
- ・写真展 2010 年目標 5/19-6/8 芸術展示ホール
- ・ワートン海 国際自然景観 5/19 30 連邦環境省ボン・ホワイ
- ・ブナ林の展示 5/19-30 連邦環境省ボン・ホワイ
- ・NABU(自然・生物多様性保全ユニオン)と野鳥 5/19-5/30 アレクサンダー・コーイン研究会博物館
- ・ウォルフ・クライン「ザ・フワ-ショップ」文具展示 5/19-31 芸術音響・ホワイ

その他関連イベント多数開催

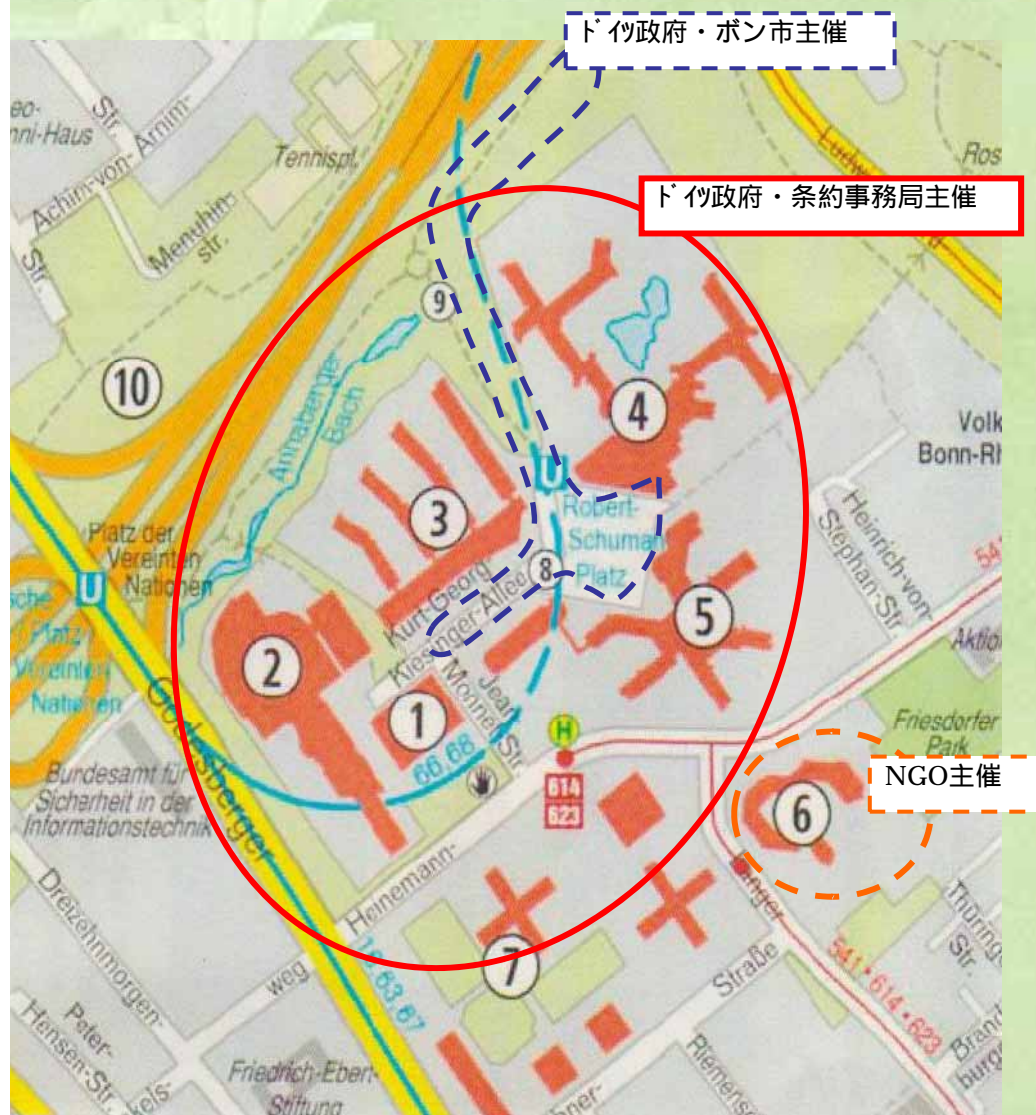
会場配置 JOPPOドイツボン



COP9期間中における主な催事

12	13	14	15	16	17	18	
COP / MOP 4						エクスカージョン	エクスカージョン ナチュラソン
Planet Diversity			市民社会 トレーニング セッション		国際市民社会準備会		
多様性調査・将来の保護手段会議 [ボン大学]			先住民族協定会合				
国際ユース会議			国際ユースサミット				
経験と良き実行フェア (CEPA) [交通省]			生物多様性広場 (屋外)				
19	20	21	22	23	24	25	
COP 9						エクスカージョン	エクスカージョン
エクスカージョン			都市と生物多様性・デザイン会議 (IAFT)				
公有地の保全 [フライブルグ財団]			生物多様性のための交通 [ボン市、ボン大学]				
国際ユースサミット			経験と良き実行フェア (CEPA) [交通省]				
生物多様性広場 (屋外)							
26	27	28	29	30	31	1	
COP 9							
市長会議			閣僚会議				
国際ユースサミット			(生物多様性展示 出展)				
経験と良き実行フェア (CEPA) [交通省]			生物多様性展示 (屋外)				
生物多様性広場 (屋外)			生物多様性広場 (屋外)				

COP9 主会場エリアの配置状況



会議場エリア 配置図

【COP 主会場】

COP9 主会場 (登録所)
COP9 主会場 (マリタイムホテル・ボン)

【COP 関連会場】

サイドイベント・関連イベント会場 (健康省)
サイドイベント・関連イベント会場 (環境省)
サイドイベント・関連イベント会場 (交通省)
NGOセンター・サイドイベント等会場 (ストレマン)
プレスセンター (調査省)

【ドイツ政府・ボン市主催】

キャンパス・オブ・ダバースィー	屋外展示
エキスポ・オブ・ダバースィー	屋外展示
地域植生種苗プロジェクト	屋外展示

COP / MOP 4における主な討議事項

日	COP / MOP 4	サイドイベント
12 ~ 16	<p>遵守委員会からの報告（カルタヘナ議定書の遵守の促進について）</p> <p>バイオセーフティー情報交換センター(BCH)の運用と活動</p> <p>能力開発と専門家登録制度(ROE)の利用と状況</p> <p>他機関、条約及びイニシアティブとの協力</p> <p>資金供与メカニズムと財源に関する事項</p> <p>取り扱い、輸送、包装及び表示</p> <p>責任及び救済</p> <p>モニタリング及び報告</p> <p>社会経済的考慮</p>	<p>49回</p> <p>2007～2008年予算</p> <p>危険性の評価及び危険の管理</p> <p>補助機関</p> <p>評価及び再検討</p> <p>一般の意識及び参画</p>

COP9における主な討議事項

日	COP9			サイドイベント
	全体会合	作業部会	作業部会	
19 ~ 30	<ul style="list-style-type: none"> ・開会、役員選出 ・議題選択 ・作業手順 ・予算の承認 <ul style="list-style-type: none"> ・COP10開催地 ・報告書の採択 ・閉会 	<ul style="list-style-type: none"> A. 植物保全の世界戦略 B. 島嶼の生物多様性 C. 世界分類学イニシアチブ D. 農業生物多様性とバイオ燃料 E. 森林生物多様性 F. 生態系に関するアプローチ G. 奨励手段 H. 侵略的外来種 I. 保護地域 J. 乾燥地・半湿潤地域の生物多様性 K. 陸水の生物多様性 L. 海洋及び沿岸の生物多様性 M. モニタリング、評価及び指標 N. 生物多様性と気候変動 	<ul style="list-style-type: none"> O. 2010年目標に向けた戦略計画の実施の普及 P. 科学技術協力とクリアリングハウスメカニズム Q. 財源と資金メカニズム R. 資金メカニズムのガバナンス S. 技術移転と協力 T. 他の条約や国際機関及びイニシアチブとの協力と、関係者の関与 U. 生息域内保全（第8（j）項） [原住民社会及び地域社会の承認及び参加] と関連事項 V. アクセスと利益配分 W. 責任と補償 X. 条約の運用 Y. 広報・教育・普及啓発 	216回

COP9における主な決議

会議	テーマ	決議の内容（締約国に関するもの）
作業部会	海洋及び沿岸の生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・海・海洋での全活動に関する法的枠組の実施 ・国家司法権を超える環境アセスメントに関する科学的、技術的分野専門家によるワークショップの開催 ・保護の必要なエリアの認定には、国連海洋法条約を含めた国際法を採用
	モニタリング、評価及び指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ミレニアム生態系評価のような生物多様性評価の枠組を設置する対応策を促進、支持すること。また、評価を設計する際は、特にミレニアム生態系評価の原則、概念的枠組と結果を考慮すること ・CBD作業計画の徹底的な見直しを準備するにあたり、ミレニアム生態系評価の枠組と経験を考慮すること。また2010年以降の戦略計画を見直すこと
	生物多様性と気候変動	<ul style="list-style-type: none"> ・科学による実証が得られるまでは海洋肥沃化の実施はしない ・湿地・泥炭地帯の生物多様性を保護し、持続可能な方法で利用する
作業部会	都市・地方自治体の参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>生物多様性国家戦略に地方を関与させ、地方版戦略の策定を支援する</u> ・<u>生物多様性の状態や傾向に関する情報の編集に地方自治体等を関与させる</u>
	2010年目標に向けた戦略計画の実施の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略計画の目標2から3の実施の見直しにおいて、生物多様性国家戦略・行動計画のガイダンスを作成すること
	科学技術協力とクリアリングハウスメカニズム	<ul style="list-style-type: none"> ・CHM非公式顧問委員会の権限を拡大し、それについてCOP11で再検討する ・強固で持続可能な国内CHMを設立する
	財源と資金メカニズム	<ul style="list-style-type: none"> ・資金源の有用性を見直しにおいて、既存の財政情報の改善、生物多様性損失による経済コストの評価、南南協力の推進を行うこと

COP9 主会場(マリタイムホテル・ボン)



COP9 主会場(マリタイムホテル・ボン)



COP9 主会場(マリタイムホテル・ボン)



COP9 主会場(マリタイムホテル・ボン他)

閣僚級会合(ボン国際会議場)



COP9 サイドイベント・関連イベント (健康省・環境省・交通省等)



NGOセンター・サイドイベント・関連イベント会場 (ストレーセマン)



プレスセンター(調査省)

キャンパス・オブ・ダイバーシティ & エキスポ・オブ・ダイバーシティ



屋外デモ等



レセプションとエクスカーション



市民・ボランティアの活躍

COP9が開催されたドイツ・ボンでは市民やボランティアが活躍



子どもたちによる生物多様性保全PR



ナチュラルラン2008(自然をテーマにした交流マラソン)



生物多様性の大切さを表現するダンス

COP9は様々な意見を持った人たちが集まりました

屋外での生物多様性PR



COP9は様々な意見を持った人たちが集まりました



COP9で行われたエクスカージョン

ロジャーバーク (主催)ボン市	5/20	火山景観・ボン地域
エナート (主催)ボン市	5/21	ボン地域
クラウスバーク (主催)ヘッセ地方環境景観省、消費者保護省	5/24	クラウスバーク地域保全林
ドイツの木材製造 (主催)ドイツ森林経済機構(DFWR)	5/24	北部ライン・ウェストフェリア
リサーチプロジェクト:農村の開発と生活 (主催)ノルトライン環境自然省、経済・消費者保護省	5/24-25	ボン周辺
ツツジとコウモリと生物多様性 (主催)ラインラント環境省、消費者保護省	5/24	エイブル
エコロジカル・水辺と種の保全 (主催)ラインラント環境省、消費者保護省	5/24	インゲルハイム
森林の多様性と都市文化 (主催)ラインラント環境省、消費者保護省	5/24	エイフル
UNESOC世界遺産・ライン川中～上流 (主催)ラインラント環境省、消費者保護省	5/24	ラインラント - パラタイント
UNESCO生物圏保全 (主催)ラインラント環境省、消費者保護省	5/24	ラインラント - パラタイント
ブレーメン植物園 (主催)ブレーメン植物園、ロッデンドロン公園	5/25	ブレーメン

COP9で行われたエクスカーション

エイフル国立公園 (主催)ノルトライン・ヴェスト・ファーレン環境自然省・消費者保護省	5/25	エイフル
シエベンクバーグ山脈 (主催)ノルトライン・ヴェスト・ファーレン環境自然省・消費者保護省	5/24-25	北ラインウェストフェリア
生物多様性ホットスポットinエイフル地域 (主催)ノルトライン・ヴェスト・ファーレン環境自然省・消費者保護省	5/24-25	北ラインウェストフェリア
世界的に有名・ネアンテルタル人 (主催)ノルトライン・ヴェスト・ファーレン環境自然省・消費者保護省	5/24-25	北ラインウェストフェリア
「製造業と森林」 (主催)ノルトライン・ヴェスト・ファーレン環境自然省・消費者保護省	5/24-25	北ラインウェストフェリア
森林地帯と野生 (主催)ババリア国立公園	5/24-25	ババリアの森国立公園
ブランデンブルグ・アッカー-マルク-鶴の平野と遥かなる地平線 (主催)ブレーメン地方環境事務所	5/24-25	ブランデンブルグ
砂漠から森林へ (主催)州サクソニー下流域森林サービス	5/24-25	サクソニー下流域
ワーキングツアー・干潟を渡って鳥の恩恵の島へ (主催)ワーデン海国立公園ノルトライン・ヴェスト・ファーレン環境自然省・消費者保護省	5/24-25	ワーデン海国立公園等
野生海岸世界遺産 (主催)サクソン・ツーリズム・マーケティング	5/24-25	サクソニーアンハルト

COP9で行われたエクスカーション UNESOC世界遺産・ライン川中～上流

5/24 ラインラント - パラタイト (主催)ラインラント環境省、消費者保護省
Upper Middle Rhine UNESCO World Heritage Site



COP9で行われたエクスカーショ UNESOC世界遺産・ライン川中～上流

5/24 ラインラント - パラタイト (主催)ラインラント環境省、消費者保護省
Upper Middle Rhine UNESCO World Heritage Site



COP9関連イベント(ボン市関係分)


- ドイツ芸術展示ホールにおけるイベント 5/20 ドイツ芸術展示ホール
“サウンドグッド”コンサート(音楽により生物多様性について喚起する)
- 多様性調査—将来保全手段会議 5/12-16 ボン大学、Konig博物館
研究者や学生が最新の生物多様性に関する研究について議論をする
- 英語でのガイドツアー 5/19-5/30 ボン大学植物園
- 地域の植物の栽培に関するイベント 5月から夏の期間 ボン大学植物園
ボン産のトマト、キャベツ、サクランボ等の栽培の紹介や販売を実施
- ボン美術館における植物素材を用いた作品の紹介 5/8-6/8 ボン美術館
ボン大学植物園の協力を得て、木材等植物素材を用いた作品を紹介
- ボン大聖堂の紹介 5/21-25、28 ボン大聖堂
特別展示や夜間にミサ、オルガン演奏、イルミネーション等実施

ボン市内の広場等でのイベント

- ・森林の生物多様性(ドイツ森林組合主催COP9関連イベント) 5/17-5/30 大聖堂広場
- ・聖ヨハネ騎士団騎士 アクションデー 5/30-31 ベートベン広場、大聖堂広場
- ・「ボンスポーツ協会100周年記念イベント」 5/30 大聖堂広場
- ・ベートベンハウスでの地元出身演奏家によるコンサート 5/18 ベートベンハウス
- ・Happy Hour-Happy Diversity(音楽の多様性を紹介するイベント) 5/12-30 屋外展示場
- ・Traffic Art-Heaven on Earth(アーティストと学生が絵画制作等を行う) 4/21-5/30 屋外展示場
- ・Naturathlon2008マラソン 5/18 屋外展示場

COP9特別展示・対応一覧(博物館等)

科学技術館	特別展(～8月3日) アフリカにおける仮面の紹介
ドイツ現代技術博物館	休館日も開館
ボン女性博物館	動物に関する作品の展示
ドイツ連邦現代史博物館	休刊日も開館
ボン美術館	冰山に関する作品を紹介 休刊日も開館
ドイツ ライン川地域博物館	地域における儀式を紹介
ボン市博物館	特別展 ベートーベンをテーマにした展示
アレクサンダー・ケーニヒ自然史博物館	特別展 アフリカにおける生物多様性保全等を紹介
ドイツ芸術展示ホール	イタリアシシリー島をテーマにした展示 ドイツの現代美術の展示 日本の寺の宝物の展示
ボン大学 植物園	COP9期間中は開園時間延長及び土曜日開園



皆様のご協力をお願いします

担当連絡先 TEL 052-972-7778
FAX 052-972-7822
E-mail aichi-nagoya@cop10.jp
URL <http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/>